

奈良佐保短大

多様な催し、学び披露

1、2回生合同
最後の大学祭 子どもらでにぎわい

2026年3月末で閉学する奈良佐保短期大学(池内ますみ学長)の大学祭「第57回佐保祭」あと2年だよ!全員集合」が10月27日、奈良市鹿野園町の同大で開かれた。1、2回生

写真をもっと
奈良新聞デジタル



魚釣りゲームを楽しむ子どもたち=10月27日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学

がそろつた大学祭は今回が最後。学生らが学びの成果を催しなどで披露し、地域の子どもたちや卒業生らが家族や友人らと駆け付けるなど、にぎわった。

も学科による魚釣りゲームは、子どもたちが魚がつかれたうれしさや達成感が得られるよう工夫した。新聞紙で岩のように見せた池の中から、手書きしたさまざまな種類の魚を、磁石付きの竿でつり上げる。最後に、つった魚の枚数を数え魚の種類を伝えた。子どもたちは真剣な表情を見せて、楽しんでいた。

運動場ではカラオケ大

会があり、午後から大人も子どもも一緒に楽しむゆる玉入れ、おかし取り競走、綱引きなどの運動会も開かれ、大いに盛り上がった。

同実行委員長の地域こども学科2回生、菅野純伸さんは「あと2年という寂しさをふっとばせるように、全力で盛り上げたい」と語った。